

元報かづん

十六回産業祭ひらく

優秀だった特産品

第十六回産業祭はあいにくの小雨にまわられたが、十一月十八、十九の両日にわたって盛大におこなわれた。十八日は農産物の出品受付、畜産品評会がおこなわれ、十九日は農産物の展示、学校作品展、いけ花展、農協青年部による野菜即売会、福引会があつて雨にもかかわらず約千人の入場者でにぎわった。

雨について

千人が入場

干ばつの影響が心配され、たなかでの産業祭であつたが、大根、もみ、柿、白菜

などを中心に、七百五十四点が出品された。十九日はあけ方から小雨

みごと「もみ」二等に入賞した石貴岩吉さんの感慨深い姿が印象的であつた。

がふり出し、入場者の出足があやぶまれたが、福引会のはじまる十時には、約四百人がつめかけた

福引特等も十時十五分には、柿の谷の赤星ミサ子さんが引きあてた。一等二等も午前中に半数以上がでて、電気ゴタツ、座イスを手にしたニコニコ顔がつづいた

畜産品評会

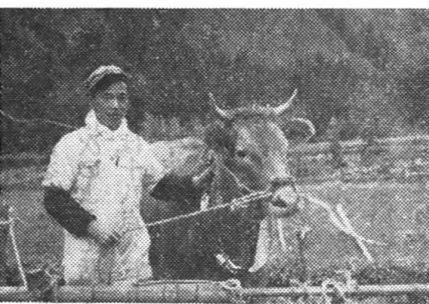
産業祭とあわせて、第七回畜産品評会が十八日開

かれた。牛二十二頭が出品され、当才、二才、成牛の審査の結果、当才と二才牛

の一位に、鯛生の吉本末富さんが出品した。「あさかぜ」と「みどり」が決定、成牛には宮園の児塔礼三郎

さんが出品した「さとみ」の悪条件のなかで

賞した人達の喜びの顔がみられた。この人達のなかで



「さとみ」は体重約五百三十キロほどあり、いかにも成牛一位という貫録で、世話を



がしなした。吉本末富さんの「みどり」と「あさかぜ」は姉妹であさかぜは昨年も当才で一位に入賞している。夫婦で会場に来て入賞を喜んで

している小玉さんも入賞を我がことのように喜んでい

た。吉本さんに良い牛のそだて方を聞いてみた。吉本さんは、「牛の血統が大事です。良い牛をそだてるためには、血統の良い牛でないと、それに牛になれることですね、仔牛が生まれて三、四日したらすぐ扱うとよくなるですね」と話した。

【写真説明】
上は表彰式、下右は吉本さん夫婦と入賞牛、左は小玉さんと児塔さんの入賞牛

八所・小園

線に着工

村道二又一八所線の第二期工事分を、十一月十三日役場で入札し、島田建設が二千二百一十円で落札した区間は八所から小園まででこれが完成するとイロラから、二又、小園へて八所に通じることになり大変便利になる。

おわび 都合によって十一月号を欠刊しましたことをおわびいたします。

一等に四点入賞

合鶴の長谷部砂雄さん

村民総参加を呼びかけて開いた第十六回産業祭は、雨のため、呼びものの体育大会を中止しなければならず、鼓隊パレード、小中学校の対抗リレー、パン喰い競争など、皆んなで楽しむことで出来なかった。

しかし、出品された農産物はいずれも優秀なものが多く、審査委員の高い評価を受けた。特に村の特産品として奨励している「わさび」、「茶」、「しいたけ」は審査委員の激賞をうけ

特賞は赤星さん

にぎわった福引

「は審査委員の激賞をうけ審査報告のなかでも「中津

皆んなに楽しんでもらおうと、全戸にくばった福引会が十時からはじまった。

賞品は特等が九千六百元の「水屋」一本、一等が電気コタツ（四千五百円）五本、二等が座イス（千八百五十円）十五本、三等が毛布（千円）そのほか六等までカラクジなし、ということにした。

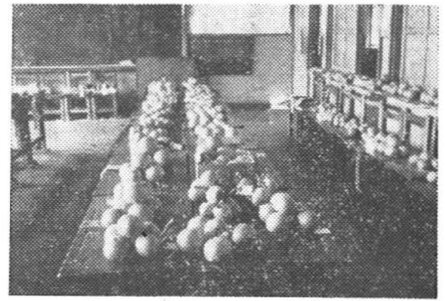
九時すぎにはもう小学生数名がつめかけ、福引のは



菜、たまねぎに一等入賞し

したほか、大豆も一等に入賞し、一等に四点も入賞した。また大根二等など全部で十五点も入賞し、産業祭中一番多い入賞者となった

このほか、小園の渡辺勝義さんが、もみ、小豆に一等田ノ口の小川勲さんが大根ねぎに一等、同部落武原弘さんの卵二点、武原保さんの柿二点、渡辺茂さんの人参二点がそれぞれ一等に入賞、原の永瀬幸夫さんも白



た。

多数の入賞をした長谷部砂雄さんは次のように話した。「昨年は十八点入賞しましたが、今年は十五点しか入賞しませんでした。大根は七点出品して全部入賞しましたが、出品物をえらぶのに、ばあさん、家内、私しとそれぞれ良いというのが違うので、それぞれが良いと思うものを全部出したらこんなことになりました。大根は干ばつのため水をトイで送ったり、バケツではこんだり、一生懸命手入れをして、もうこれ以上はできない、というほど力を入れました。大豆は昨年二等だったので、今年は一等はなりたとい努力したら

県民手帳を

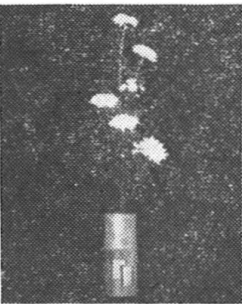
どうぞ

一人がどかつた

個人では長谷部砂雄さんが良い成績を上げたが、部落では、田ノ口が一位に七人も入賞し、入賞品も大根人参、里イモ、たまねぎ、ほうれん草、椎茸、柿、と多種類にわたり注目をひいた。

田ノ口

毎年皆さんに愛用していただいています県民手帳一九六八年版ができました。県行政区域図、道路標識が色刷でつけ加えられました。その他、これまでと同じようにメートル法換算表、健康者諸機能の平均値、市町村の概要、県勢要覧の抜すい、県会議員名簿そのほかいろいろと資料がついており、日々のメモも勿論できるなど、日常生活や学習などに非常に便利であります。大きさはタテ十一、五センチ、ヨコ七、五センチでビニール表紙つきです。一冊百十円で役場の総務課で二月二十五日まであつかいますので、どうぞ御利用下さい。



勉強している方々が生花展をひらいた。キクを使った作品が多く見られた。上は福引会下は生花の一部



じまるのを待った。十時の定刻には約四百人がつめか

津江スカイライン

新道路の名きまる

先きに新道路二本のニツクネームを懸賞募集したところ、村内外から多数の応募があり、選こうの結果、野田―田ノ口線を「津江スカイライン」。山本―鯛生線を「杉なみバイパス」が採用された。

この道路のことは、西日本新聞にも大きくとり上げられ、応募も日田市、玖珠郡などからあつて、宣伝に



応募の中には、グレート鯛巣宮本線、オール眺望百景線という面白いものから、天望八田野原線、中央高巢梅林線と浄瑠璃調のもの、杉なみハイウエーと近代的なものまであつた。

〇〇ハイウエー、とつけたものがかなりあつたが、スカイライン、バイパスの方がぴつたりする、ということでのこの名のついたものを採用した。

村では、ダム completionと共にこの観光道路を大いに売り出すことにしている。

当選者、日田市石井町、

長順一郎、中津江村引野、矢野邦彦、同八所坂本千津子。写真は杉なみバイパスの小平田付近

イノシシわな

講習会ひらく

農家の敵イノシシ退治に「イノシシわな」を使おうとわなかけ講習会が開かれました。

講師には南海部郡宇目町の川野伊勢五郎さんと、同町産業課長補佐の甲斐さん

日、所と提で講習会を開きました。

川野さんは農業のかたわらイノシシわなで、年に三十頭もイノシシをとり、売り上げが二十万円もあるそうです。いわばイノシシわなの名人という人です。

五の日は税の

相談の日

講習会には三十六人が参加しました。わなは、もうそう竹と針金を使い、わなにかかつたイノシシをつり上げるようになっています。川野さんは、このわなを使えば、かならずとれる、と大鼓判をおしてくれましたので、これからのイノシシ退治が楽しみです。

佐々木康さんは

どこに？

佐々木さんが、合瀬の四〇一九番地に住んでいるはずですが、戦没者叙勲のことで調査して下さい。と愛知県庁から問い合わせがありました。中津江には住民登録をしていませんので、わからずにいます。知っている方がいましたら、役場の社会科まで住所を知らせて下さい。

また、相談する際おところ、おなまえはかくされてもよいし、全国どこの税務署でも相談できる制度になっていますので、税金についての疑問や質問のある方は、お気軽にご利用下さい。なお、五の日は都合のわるい方は、五の日に限らずいつでも、ご相談になられて結構です。

また、相談する際おところ、おなまえはかくされてもよいし、全国どこの税務署でも相談できる制度になっていますので、税金についての疑問や質問のある方は、お気軽にご利用下さい。なお、五の日は都合のわるい方は、五の日に限らずいつでも、ご相談になられて結構です。

(3)

- 一、支給対象者
1、昭和四十二年八月一日現在生存している引揚者
2、昭和四十二年七月三十一日以前に死亡した引揚者の遺族。

二、引揚者の条件

終戦のため、外国から引揚た方々に特別交付金が支給されることになりました。役場ではさつそく、この

引揚者に交付金

二万円から十六万円

範囲や金額は次のとおりです。

終戦時（昭和二十年八月十五日、以下基準日という）まで、引き続き一

年以上生活の本拠を外にもつていた者が、終戦によつて、外国官憲の命令、生活手段の喪失など

に特例として、ソ連参戦

地域、旧南洋委任統治領、米、英、加、濠、中南米等連合国の領域、旧蘭領東印度諸島、英領マレー半島、同ボルネオ、フィリピン諸島からの引揚者もありますが、これらの地域は、それぞれ基準日が違いますので、くわしいことは役場社会課にたずねて下さい。

二万円から十六万円まで

三、交付金の額

基準日の年齢によつて

また、相談する際おところ、おなまえはかくされてもよいし、全国どこの税務署でも相談できる制度になっていますので、税金についての疑問や質問のある方は、お気軽にご利用下さい。なお、五の日は都合のわるい方は、五の日に限らずいつでも、ご相談になられて結構です。

また、相談する際おところ、おなまえはかくされてもよいし、全国どこの税務署でも相談できる制度になっていますので、税金についての疑問や質問のある方は、お気軽にご利用下さい。なお、五の日は都合のわるい方は、五の日に限らずいつでも、ご相談になられて結構です。

森脇龍也君が

標記で大分県一に

ポスターも多数入選

大分県選挙管理委員会が募集しました、「明かるく正しい選挙」の宣伝ポスター、標語に、本村から沢山入選しました。特に標語では鯛生小学校六年の森脇龍也君の作った、「あなたの一票くらしを守る」が大分県一位になりました。一位になった森脇君はもとより担任の先生もびっくりして

います。森脇君は、「社会科のとき、よい国をつくるためには、選挙でよい人を選ばねばならない、と教えたので、村の選挙のことを考えて作りました」といっています。

このほかポスターでは、鯛生小学校五年の渡辺聖子さんが大分県二位に、佳作には同じ鯛生の諫山千鶴さん

んが佳作に選ばれました。一つの村からこれほど沢山入選することは非常に立派な成績です。皆さんからもほめてやって下さい。

四十年の全国火災統計をみますと、日本全国では一日に一四八カ所も焼け、一億四千万円が灰となつてい

る計算になります。その火災の原因を分析してみますと、「たばこの火」、「火遊び」、「マッチ」、「たき火」、「煙突」による火災が上位を占めていて、火災の九十五パーセントが失

火となつています。これをみると、お互い一人一人がちよつと注意すること、火事を防ぐことができるのです。

十一月二十六日から十二月二日までの一週間、「昭和

先きに父万吉氏を失くされた岩本重信氏、兄力氏を失くされた永瀬虎記氏および祖父伝氏を失くされた永瀬清和氏から、香典返しとして、社会事業にそれぞれ金一封を寄付された。村では、社会福祉協議会で受けとり、めぐまれない方々のため使うことにしている。



永瀬順子さん

全国では一四八件

一日の火災件数

冬を迎えて、新聞は各地の火事をつたえています。

これをみると、お互い一人一人がちよつと注意すること、火事を防ぐことができるのです。

和四十二年秋季全国火災予防運動」がおこなわれます一層の警火心をたかめ、自分の家や工場からは、絶対火事を出さないようにしましょう。



諫山千鶴子さん 渡辺聖子さん 森脇龍也君



吉本まり子さん 萩森朱美さん 斎藤みさ子さん

無料特設人権相談所開設

とき 12月9日午前10時—午後3時
ところ 栃野登記所
担当者 法務局職員、地元人権擁護委員

- ▽ 次のことで困っている人は、
- 1、村八分 6、公務員の得権濫用
- 2、金品の強要 7、土地家屋の問題
- 3、営業の妨害 8、交通事故の問題
- 4、名誉の侵害 9、扶養料の問題
- 5、寄付の強要 10、その他の法律問題
- ▽ 裁判をして勝つ見込はあるが、訴訟費用がないため困っている方はご相談下さい
- 例 交通事故による損害金請求訴訟等
- ▽ 中津江村の人権擁護委員は次の人です
矢原久吉
- ▽ 法務局や人権擁護委員は、皆さんの人権を守るため適切な処置をします。

大分地方法務局日田支局
主催 日田人権擁護委員協議会

全体的には、火災件数、損害額とも増加しています特に問題なのは、火災による死傷者が多いことです。老人や子供、病人は階下に寝るよう日頃から心がけ、万一火災になつたときの避難について十分な対策を立てておきましょう。

寒くなると、火を使うことが多くなります。村内に一件も火災をおこさないよう皆さんで気をつけましよう。